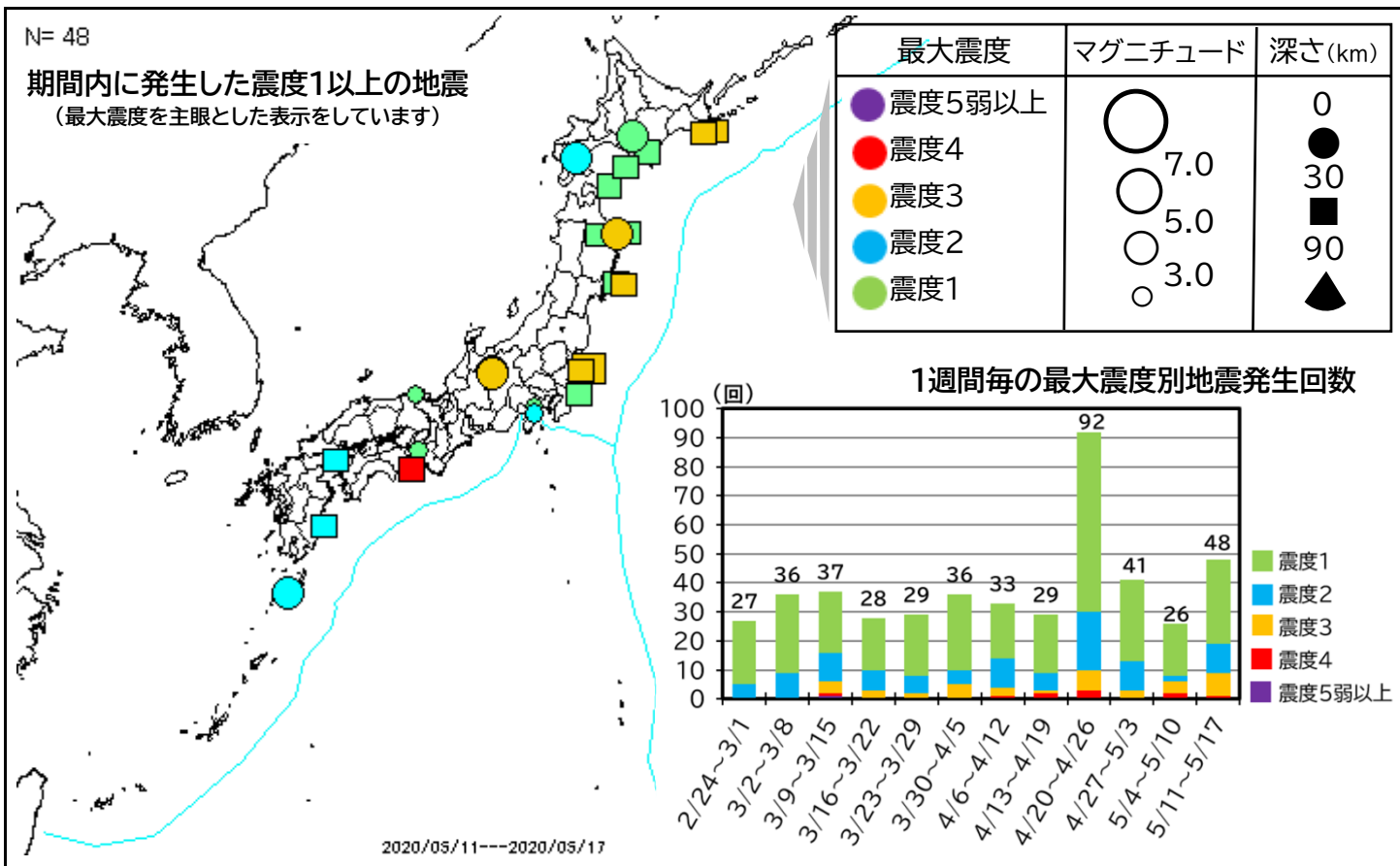


この期間の最大震度は4

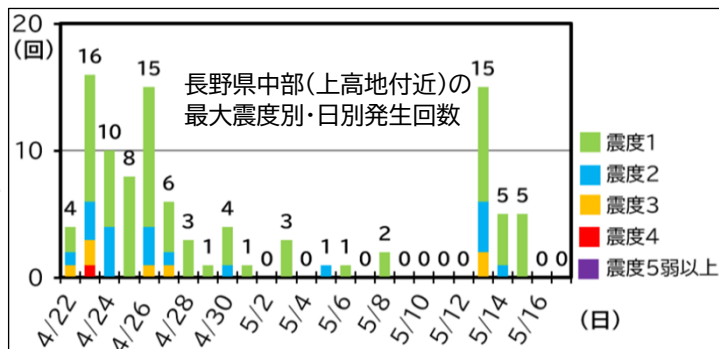
本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

■ この期間、震度1以上の地震が48回発生。最大震度は紀伊水道で震度4 ■

- ・長野県中部(上高地付近)の地震は、減少傾向にあるも、13日に一時的に数が多くなった(図参照)。震源の広がりがなく等、しばらく注意。
- ・17日20時38分に紀伊水道で発生した地震(M4.5、深さ40km)により、徳島県阿南市で震度4を観測。この地震は横ずれ型でフィリピン海プレート内部で発生。この付近でM4.5を超える地震は1994年8月以来。



トピックス

■ チリ地震と津波警報 ■

- ・5月23日(1960(S35)年:日本時間)は、南米チリ沖で巨大地震(Mw9.5)が発生した日です。
- ・この地震による津波は広く太平洋全域に伝播し、日本にも地震発生から約22時間後に来襲し、太平洋岸で場所によっては6mの津波が観測され、全国で死者・行方不明者が142名となりました。
- ・気象庁における津波警報組織は1949(S24)年に確立されていたが、主として日本近海で発生する地震による津波を想定していたものであったため、効果的な対応ができず、津波来襲後に警報を発表することとなりました。
- ・この地震を契機として世界各国間の組織的な協力体制の確立が痛感され、太平洋沿岸諸国にとって共通の脅威である津波に備えるためハワイに太平洋津波警報センター(PTWC)が設立されました。
- ・現在、外国で発生した地震における気象庁の津波警報発表体制は、PTWCと連携して的確な警報を発表できる体制となっています。
- ・ちなみに、全国的な津波警報体制が確立された1949(S24)年の8年前の1941(S16)には、世界最初となる三陸沿岸を対象とした津波警報組織が仙台管区气象台を主として発足しています。
- ・昨今、新型コロナウイルス対策における避難行動について議論されているところですが、海岸等で大きな地震を感じた場合や津波警報が発表された場合には、まずは津波から命を守るために、速やかに迷わず高台等安全な場所に避難することが必要です。